

目 次

1 提案趣旨	1
2 提案内容	1
(1) 生徒指導の全体計画	
(2) 生徒指導システム	
(3) 時を守り、場を清め、礼を正す	
(4) 学業指導の充実	
(5) P T Aとの連携	
3 今後の課題	9
(1) 機能する組織体制の維持	
(2) 学校・保護者・地域が連携した継続的な指導	
(3) 学級経営力の向上	
(4) 小中連携	

組織を生かした生徒指導の在り方 ～学業指導の充実を目指して～

提案者 さくら市立氏家中学校教諭 石川 博

1 提案趣旨

社会は少子高齢化、情報化、都市化、グローバル化などの影響で環境や意識が大きく変化し、様々な課題が生じている。また、生徒指導上の問題行動の背景には、人間関係の希薄化や規範意識の低下等が関係していると指摘されている。このような状況において、学校教育に求められる内容も年々増してきている。特に学習指導や生徒指導に対する保護者や地域の期待は大きくなってきている。そこでは、様々な価値観や利害が交錯し、これまでの常識やモラルだけで物事を処理することが難しくなっている。特に、不登校、暴力行為、性に関する問題、保護者の無理な要求、携帯電話を利用したいじめの問題は、大きな社会問題になっている。そして、これらの問題を解決するには、様々な問題解決の力が求められる。

そこで、学校生活において、生徒一人一人が生きがいを感じ満足感や充実感を味わえたり、将来の夢や希望を持って自己実現が図れたりするように、望ましい人間関係の育成や、健康で安全な生活を送ることなど、学校教育の充実が大きな役割を担っている。

そのためには、生徒一人一人の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、同時に公共の精神や社会規範を尊重する意識や態度を大切にし、自主的・自律的に判断、行動し、積極的に自己を生かすことができるよう社会的資質や能力・態度を育成していくことが必要だと考える。

以上のことから、本研究では「組織を生かした生徒指導の在り方～学業指導の充実を目指して～」というテーマのもと、大規模校として抱えている課題等に適切に対応していくために、生徒指導体制と学業指導の充実を中心に本校の実践を提案したい。

2 提案内容

(1) 生徒指導の全体計画

ア 生徒指導の目指すもの

学校教育目標・経営方針・努力点をふまえた上で、一人一人の生徒についての理解を深め、一人一人に存在感、自己肯定感を感得させ、自己実現を図る援助をする。

イ 生徒指導の基本方針

- (ア) 生徒理解を深め、援助・指導を推進する。
- (イ) 基本的な生活習慣を身に付けさせ、道徳性の育成と向上を図る。
- (ウ) 教師相互及び家庭、地域社会、関係機関との連携を密にし、諸問題の早期発見、早期解決に努める。

ウ 生徒指導スローガン

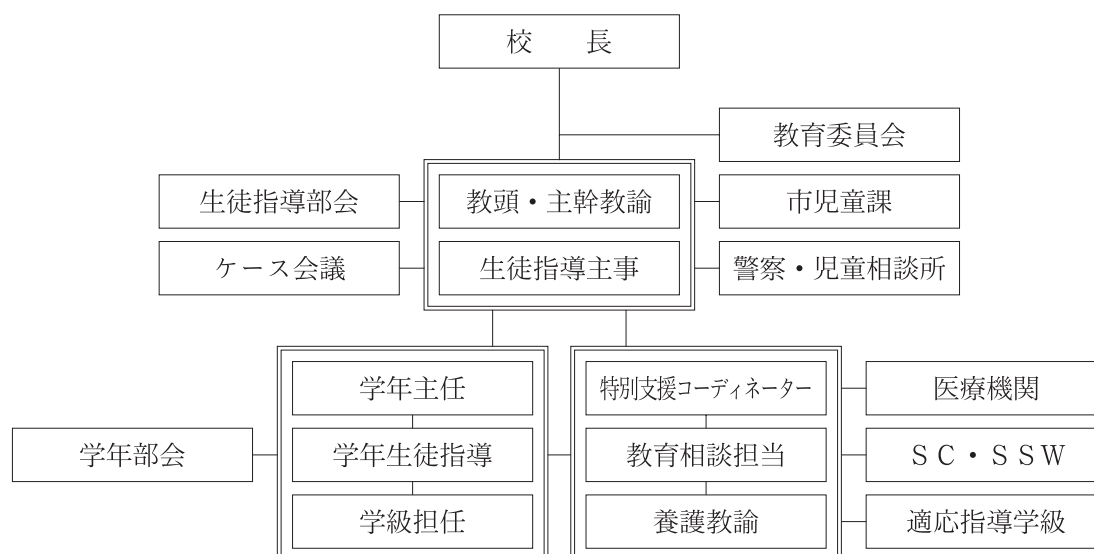
「時を守り、場を清め、礼を正す」

エ 本年度の重点目標

- (ア) 生徒理解に努め、教師と生徒の心の触れ合いが持てるようにする。
 - a 教育相談の充実
 - b 情報の交換・共有
- (イ) 学級経営を充実させ、生徒一人一人に存在感と有能感を持たせ、安定した張りのある生活ができるようにする。
- (ウ) 基本的生活習慣を身に付けさせ、充実した集団生活が送れるようにする。
 - a あいさつをする。
 - (a) 登下校時のあいさつの励行 (b) 授業の始まり、終わりのあいさつの励行
 - (c) 廊下等でのあいさつの励行 (d) 大きな声で返事ができる習慣を身に付ける
 - b 時間を守る。
 - (a) 遅刻をしない (b) 授業開始時刻に遅れない
 - c 公共物を大切に使う。
 - (a) 清掃をしっかりと行う (b) トイレをきれいに使う (c) 教室内の整理・整頓
 - (d) 用具を大切に使う (e) 駐輪場を整然ときれいに使う
 - d 交通ルールを守る。
 - (a) 交通安全教室の実施 (b) 自転車の整備 (c) ヘルメットの着用
 - (d) 交通ルールの遵守
- (エ) いじめの根絶を図る。
 - a あゆみを生かした関係づくり
 - b 生活に関するアンケート調査
 - c Q－Uの実施（2回）
 - d 家庭訪問・教育相談（2回）・三者面談

(2) 生徒指導システム

ア システム図



イ 生徒指導部会

- (ア) 参加者 教頭、生徒指導主事、教育相談担当、学年生徒指導、交通担当
養護教諭、特別支援コーディネーター
- (イ) 実施日 月曜日 2校時

ウ 運営委員会

- (ア) 参加者 校長、教頭2名、主幹教諭、生徒指導主事、教育相談担当
学年生徒指導、養護教諭、特別支援主任
- (イ) 実施日 水曜日 1校時

エ ブロック会議について

- (ア) 目的
基本的に、毎月第4水曜日に位置付け、①学校経営・学年経営、②学習指導部会、③心の教育部会、④健康安全部会の4つの部会を開催し、校内の教育活動及び組織の活性化を図る。また、学校評価等の内容で会議を実施する場合には、「2組織構成」のように部会を細分化して会議を行う。なお、学年主任会は、運営委員会の一部を運用することもある。
- (イ) 組織構成（◎部会長、○グループ代表）
- a 学校経営・学年経営部会（①学年主任部会、②事務部会）
 - b 学習指導部会（①教科主任部会…各教科、②領域部会…道徳、学級活動、総合）
 - c 心の教育部会（①教育相談、②人権教育、③道徳教育）
 - d 健康安全部会（①環境美化、②健康指導、③交通指導）

部 会 名	部 員
学 校 経 営 ・ 学 年 経 営 部 会	◎主幹教諭、1 学年主任、2 学年主任、3 学年主任、 特別支援主任、事務長、事務担当、教頭①、教頭②
	○事務長、事務担当、教頭①、教頭②
学 習 指 導 部 会	◎学習指導主任、副教務、学年副主任 (国)(社)(数)(理)(英)(特支)(音)(美)(保体)(技・家)(道徳)
	○特活主任 (総合)(進路指導)(生徒会担当)
心 の 教 育 部 会	◎教育相談担当、○生徒指導主事 特別支援CO、養護教諭②、学習室担当
	○人権教育担当
	○道徳教育担当
健 康 安 全 部 会	○清掃担当、PTA環境整備部
	◎養護教諭①、養護教諭、栄養教諭
	○交通指導担当、教職員2～3名

(3) 時を守り、場を清め、礼を正す

ア 朝の読書（時を守り）

- (ア) 学校生活のスタートに落ち着きを持たせ、生活習慣の改善をねらう。
- (イ) 読書の習慣を身に付けさせる。
- (ウ) チャイムで授業を始める。

一時が一事、生徒も教師も一時に一事を集中させる。



朝の読書

イ 清掃のコンセプト（場を清め）

- (ア) 自分たちの大好きな氏家中学校だからきれいにしておきたい。
- (イ) 学校がきれいになると自分がうれしい。
- (ウ) 今日も先生に褒められた。
- (エ) やらされる掃除ではなくすすんできれいにするそうじ。

「心」を磨き、「自分」と向き合う時間とする。



地域のクリーン活動

ウ あいさつ（礼を正す）

- (ア) 生涯学習課と少年指導員との連携したあいさつ運動
市生涯学習課・少年指導員・教職員が、朝の登校時間帯に1年間で5回、のぼりの旗を持ってあいさつ巡回運動を実施した。
- (イ) 小中学校が連携したあいさつ運動
中学生がボランティア活動として小学校に出向き、小学校の教職員やPTAと合流し、あいさつ運動を実施した。生徒は、ボランティアとして希望者を募り、登校時間に合わせ、あいさつロードをつくり、児童を出迎えた。
- (ウ) 生徒会・中央委員によるあいさつ運動
生徒会の役員と、1学期の学級委員で組織する中央委員が中心となり、朝の登校時間帯に昇降口付近であいさつ運動を実施した。
- (エ) おはようからはじめる人づくりの取組
市教育委員会では、「おはようからはじめる人づくり」を合い言葉に一日のスタートである朝のあいさつの実践が、基本的な生活習慣の育成や地域住民との交流を通した人づくりにつながるととらえ、朝のあいさつ運動を展開している。



(ア)



(イ)



(ウ)

(4) 学業指導の充実

学校行事を通して、人間関係作りやコミュニケーション能力を形成し、学級集団への所属感や連帯感を深め、仲間と協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的な態度を育てる。特に、本校の「集団」の持つ「力」を最大限に生かして、教員や生徒を育てる。

ア 学校行事



(ア) 運動会 男子・組体操



(イ) 運動会 応援合戦



(ウ) 校内駅伝大会



(エ) 合唱コンクール



新入生歓迎会

イ 生徒会活動

(ア) 生徒会役員が中心となり、企画・運営を行う。各部活動の紹介を新入生向けに行い、部活動への加入を勧め、上級生としての自覚を深める。

(イ) 生徒会役員・中央委員会が中心となり、学校の課題について話し合い、問題解決に向けて企画し、実践する。

平成29年度は、情報モラルについて提案があり、スマホやケータイ、ネットをみんながトラブルにならずに利用するためには、どのようなルールやマナーが必要なのか。話し合い活動を通して、リーフレットにまとめた。そして、リーフレットを作成し、全校生に配付した。

家族と話し合ってルールを作ろう！

具体例

- ・使用時間は、勉強時間の半分にする。
- ・夜の9時以降は電源をOFFにする。
- ・インターネットの接続は、保護者のいる前だけにする。
- ・充電はリビングルームで行い、自室には持っていない。



補足説明

氏家中学校では、スマホ所持者のテストの平均点が非所持者より30点以上も低かったという調査結果も出ています。今の生活に本当に必要なかを考え、持っている人は、利用できる時間や利用できる場所などについて、上手に使い分けていきましょう。

正しいスキルを身に付けよう！

具体例

- ・セキュリティ対策ソフトをインストールして、コンピュータウィルスの感染を防いだり、有害なページをブロックしたりする。
- ・通信機能をOFFにして通話のみの契約にするなど、必要に応じて使えるように検討してみる。
- ・SNSなどでも、見知らぬ人との接触は避ける。



補足説明

インターネットは世界中とつながっており、さまざまな有害情報や悪意のある人物とも、常に接触する可能性があります。ワンクリック詐欺で多額の請求をされたり、チェーンメールなどの迷惑メールが送られてきたりしないよう、フィッシング詐欺などのパズルを要っていきましょう。

モラルを守ってみんなで幸せに利用しよう！

具体例

- ・無断で撮影や録画・録音をしない。
- ・安易に個人情報や画像などをネット上に掲載しない。
- ・メッセージを送信したり書き込んだりする前に、相手を傷つけないか、誤解されないか、もう一度内容を確認する。



補足説明

一度インターネット上に掲載された情報は、「デジタルタトゥー」と言われるように、完全に削除することはできません。また、肖像権の侵害やいじめ問題など、あなたが将来責任を負う加害者になってしまふこともあります。

マナーを守って気持ちよく利用しよう！

具体例

- ・食事や会話の席では操作しない。
- ・「歩きスマホ」や「ながら運転」など絶対にしない。
- ・公共の場ではマナーモードに設定し、大声での通話なども、しないようにする。
- ・学校など持ち込みが禁止されている場所には持ち込まない。



補足説明

スマホを持っている人も持っていない人も、みんなが楽しく生活するために、使っている人は他人の権利を思いやりで利用していきましょう。また、大切なことは、直接目で見て確認することです。

リーフレット

生徒たちが考えた、情報モラル・ルール の 4 箇条

- 機能を制限して安全に利用しよう。
- 時間や場所を制限して有効に利用しよう。
- モラルを守ってみんなが幸せに利用しよう。
- マナーを守って気持ちよく利用しよう。



ウ 情報モラル教育

(ア) メディアチャレンジシート

生徒のメディアに接する時間が大変多いことが課題となっている。そこで、家庭でルールを決め時間を有効に活用して学力アップを図るため、平成27年度から取組を実施している。自分の生活を見つめ直し、余裕ができた時間を勉強や読書等に有効活用するため、家庭との連携協力の下、取り組んでいる。

ノーマディアチャレンジシート

～「メディア」を上手に活用して学力アップ～

学校 第 期 第 学年

取組期間 月 日()～ 月 日() (提出日 月 日())

1. メディアを使う時間を決めよう。(予定どおりに使えよう!)

※メディアとはテレビ、ゲーム、DVD、スマートフォンなどを指します。

日	曜日	時間	時間	時間	時間	時間	時間
1	月	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
2	火	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
3	水	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
4	木	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
5	金	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
6	土	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
7	日	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00

2. 余裕ができた時間を上手に使おう。

※余裕ができた時間を勉強や読書などに活用しよう。

日	曜日	時間	時間	時間	時間	時間	時間
1	月	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
2	火	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
3	水	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
4	木	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
5	金	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
6	土	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00
7	日	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00

ノーマディアチャレンジシートを貼って

家の前

家の入り口

夏休み中、勉強や読書、運動、遊び、ボランティア活動など、いろいろな活動に取り組もう。

塩谷南那須教育事務所 塩谷南那須地区教育委員会連合会

チャレンジシートの活用について

ノーマディアとはテレビ、ゲーム、DVD、スマートフォンなどを指します。

【記入例】

1. メディアを使う時間を決めよう。(予定どおりに使えよう!)

2. 余裕ができた時間を上手に使おう。

3. 余裕ができた時間を勉強や読書などに活用しよう。

4. 余裕ができた時間を勉強や読書などに活用しよう。

5. 余裕ができた時間を勉強や読書などに活用しよう。

6. 余裕ができた時間を勉強や読書などに活用しよう。

7. 余裕ができた時間を勉強や読書などに活用しよう。

8. 余裕ができた時間を勉強や読書などに活用しよう。

9. 余裕ができた時間を勉強や読書などに活用しよう。

10. 余裕ができた時間を勉強や読書などに活用しよう。

11. 余裕ができた時間を勉強や読書などに活用しよう。

12. 余裕ができた時間を勉強や読書などに活用しよう。

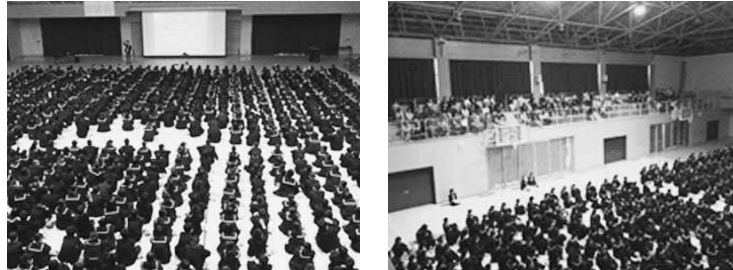
チャレンジシートを活用して、自分の生活を見つめ直し、余裕ができた時間を勉強や読書などに有効活用しよう。

塩谷南那須教育事務所 塩谷南那須地区教育委員会連合会

(塩谷南那須教育事務所、塩谷南那須地区教育委員会連合会)

(イ) 情報モラル講演会

LINEによるいじめやSNSに軽はずみな画像やつぶやきを投稿して問題視される等のトラブルが多く発生している。そこで、いじめやネットトラブルへの対応を生徒自身が学ぶ機会となった。また、保護者への啓発を図るよい機会にもなった。



講師 工藤陽介（デジタルアーツ株式会社）

(ウ) 保護者向け啓発資料

本校でも、携帯電話の所持率が高く、ネット上でのトラブルが発生することが懸念されている。そこで、生徒にスマートフォン及び携帯電話、ゲーム機等を持たせている家庭に、改めてその使用について十分話し合いをしたり、使用内容も把握したりする機会として、全家庭に啓発資料を配付した。内容の特徴としては、子どもが行った行為が犯罪になることを理解しやすい資料とした。

例

○実名の書き込みなどの個人情報の発信や写真・動画の投稿等をする。

⇒肖像権の侵害・名誉毀損罪等

○「死ね」「ウザイ」「キモイ」などや相手になりすまして嘘の書き込みをする。

⇒傷害罪等・脅迫罪・名誉毀損罪等

○相手について事実ではないうわさの書き込みをする。

⇒名誉毀損罪・侮辱罪等

(5) PTAとの連携

ア 「愛のパトロール」活動

保護者が地域内をパトロールしながら、生徒に声をかけるもので、生徒の非行や交通事故等を未然に防止し、健全育成を目指すものである。このパトロールは取り締まりが目的ではなく、健全育成を目指した運動で、市教育委員会や警察署が後援となり、学校、保護者、関係機関と連携しながら活動した。



「愛のパトロール」活動

イ 市PTA協議会が保護者向けに作成したパンフレット

情報モラル教育の一環でアンケートを実施した。中学生のインターネット・携帯電話の利用の仕方を把握したことで、各家庭の意識や取り組み方に大きな隔たりがあることが分かった。そこで、生徒が正しく判断し実践力を培うことができるよう、保護者への啓発活動の一環としてパンフレットを作成した。



パンフレット

